遊べる・学べる淡海子ども食堂ニュースレター 2017.8発行 子姓食堂

子ども食堂 NEWS

1. 実践者研修会

2. 開設準備講座

子ども食堂リレートーク

file 2. にじの家サロンこども食堂&寺子屋

遊べる・学べる 淡海子ども食堂 が 73 ヶ所 になりました!

子ども食堂 NEWS

子ども食堂の活動をしているなかで、運営の継続 方法や子どもとの関わり方が課題となっているとい う声をうけて、今年度からは子ども食堂を実際に運 営しているみなさんに向けた研修会を開催すること となりました。



7月18日(火)に、第1回目として「運営の継続・応援団づくり」をテーマに開催しました。 講師には、NPO法人山科醍醐こどものひろば 理事長の村井琢哉さん、こどもソーシャルワークセンター 代表の幸重忠孝さん、実践報告にはNPO法人 CASNが運営する「晴嵐 みんなの食堂」代表の谷口久美 子さん、吉身東町自治会が運営する「子ども食堂 ひがしっこ」代表の小西由美子さんをお迎えして、応援 団のひろげ方や、経費のやりくりの方法についてお話していただきました。後半のグループトークでは「お金」 「人」「連携」について、グループに分かれて、悩みやアイデアなど出し合いました。

~実践報告では、こんなお話をしてくださいました~



や市と連携できるようになってきました。 これから商店街に協力店舗をひろげていき たいです!

谷口さん

子ども食堂を始めて3年目に入り、学校

自治会での運営ですが、スタッフは強制せ ず、口コミで集まってもらっています。毎回 子ども食堂のあとに振返り会議を行い、次の メニューを決めています。



小西さん

~講師の村井さん・幸重さんより~





地域に子ども食堂があること が当たり前になるようにしてい くことが大事だと思います。





村井さん

目の前の活動を進めていきたくな るけれど、話し合って見直すことは 継続していくために大切なことなの で、話し合いの場はぜひつくってほ



幸重さん

~各グループから出てきた悩みと

それに対する村井さん・幸重さんからのアドバイス~

?安定した収入を生み出すノウハウを知りたい。

♡ 例えば、年間 100 円のサポートを地域で頼む・店舗に募 金箱を置いてもらう・古本を提供してもらってお金に変え るなど… さまざまな方法を組み合わせるのもいいですね。

【人】

フ立ち上げたときの思いを、

どうやって次の世代へつないでいけばよいのか

- ϔ 活動を通じて、お互いに議論を交わしていくなかで理解 し合えると思います。
- ϔ 外に「伝える」ことで、メンバーのなかにも思いが伝わっ ていきます。

「連携」

? 学校との連携が難しい

- 社協などの信頼を借りて話しにいくのが良いと思います。
- 教員OBを地域ボランティアとして巻き込むと強いですよ。
- ? どうすれば学生をボランティアに巻き込めるか
- Ŭ 地元の中学生に子どもと関わるボランティアとして参加し てみてもらうのも一つの手だと思います。

次回の研修会は… ♡

「子どもへの関わり方」がテーマです。

日時 10月4日(水) 14:00~16:30

場所 滋賀県婦人会館(近江八幡市鷹飼町 105-2)

開設準備講座

しいです。

7月29日(土)に第2弾を高島市の安曇川公民館 ふじのきホールにて、8月3 日(木)に第3弾を甲賀市の水口社会福祉センターにて、それぞれ開催しました。

福祉推進員さんの研修も兼 ねて開催された高島会場では、 70名以上の参加者がありま した。「初めて子ども食堂を 知った」という方から、実践 されている方まで、さまざま な方に参加していただきまし た。





されている方も多く、これ から始めようと思っている 方に各グループのなかで具 体的なアドバイスが行われ ている様子が見られまし た。

参加されたみなさんから は「立ち上げについて難し く考える必要はないと感じ た」、「子どもの居場所づく りの大切さを知れてよかっ た」などの声をいただきま した。



次回開催のお知らせ

第4弾は湖北圏域で開催します。

日時 9月20日(水)

14:00~16:30

場所 米原地域福祉センター

ゆめホール (米原市三吉 570)

実践報告 ・こどもの居場所「まんま」さん

・湖北子ども食堂

「リエゾン (Liaison)」 さん

詳しくは、チラシをご覧になるか 事務局までお問合せください。

子 ど **も 食 堂** 101 リ レ ー ト ー ケ

file.2 にじの家サロンこども食堂&寺子屋

「子ども食堂リレートーク」では、現在県内 73 ヶ所に広がった子ども食堂のみなさんにお話を伺いに行きます!

第2回目は、「しが健康医療生活協同組合」が運営する栗東市の「にじの家サロンこども食堂&寺子屋」さんを紹介。「地域まるごと健康づくり」をスローガンに、どんどん新しいことにチャレンジされています。

●子ども食堂をやっていてどうですか?



うちの子ども食堂は「しが健康医療生活協同組合」が中心となっのは、 営しています。医療生協というのは、 医療と介護事業を中心におこなう生活協同組合のことで、地域ごとに班をつくり健康チェックや健康・予防の学習会などで、地域の人々の健康 づくりやまちづくりに取り組んでいます。

地域まるごと 健康づくり

いろいろなところが子どもの居場所づくりをしていることを知り、うちでもできないかと思い民生委員さんに地域の子どもたちの現状を聞いてみたところ、「近くの小学校区は新興住宅が多く、みんながつながれる場は増えるといいのでは」ということだったので、心のつなっかけになればと思い、この食堂を始めました。最初は来てくれるかなど不安なこともあがましたが、実際に始めてみるとたくさんの子どもたちが来てくれたので、必要とされてるのかなと感じました。これまで関わりのなかったところにたくさんのつなりができたことがうれしいし、今は楽しみが大きいから続けられています。

子ども食堂を始めて2年目。医療生協だからできることがあると思うので、いろいろチャレンジしていきたいと思っています。今年の夏休みには、医師・看護師体験や福祉の職場体験を予定しています。こういうことを通して、地域のつながりや健康づくりも進めていくことが目標です。



にじの家サロン こども食堂&寺子屋 代表 山崎 勇一さん

●どんなメニューを出しているんですか?

毎回カレーとサラダです。健康推進員さんが来てくれたときには、もう一品増えることもあります。毎回カレーにしているのは、作りやすいし、嫌いな子もいないので。夏はなすびやトマト、冬は冬瓜などの季節ごとの野菜を入れています。

ごはんは2升炊いていますが、いつもみんながたく さんおかわりをしてくれるので、ほとんどなくなりま す。

取材に行った日のメニューは、カレーライスとサラダ、デザートにフルーツいっぱいの杏仁豆腐でした。





杏仁豆腐は、健康推 進員さんに教えても らって、みんなでつ くりました!

●これってどうしているんですか?

●スタッフ



組合員さんを中心に呼びかけたら、市内外から調理してくださる方や勉強を教えてくれる方、おやつ作りを教えてくださる健康推進員さんや習字の先生、大学生ボランティア等、たくさんの方が集まってくれました。みなさんそれぞれ特技を活かして参加してくれています。

●地域への呼びかけ

最初はチラシをポスティングしていましたが、今は小学校の協力を得て全校配布をしてもらっています。だんだん申込も増えてきて、毎回15名ほどの子どもたちが参加。この夏休みはお知らせを出してから一週間で定員20名がいっぱいになりました。

食堂から個別への声かけは特に行っていませんが、民生委員さんの定例会にお伺いして子ども食堂のことを伝えさせてもらいました。また、地域でチラシを配っていたときに出会った近所のパン屋さんが、子ども食堂のお知らせやボランティアの案内を店頭に置いてくださっています。

●食材

野菜は、お付き合いのある農家さんや市社協さんからいただいています。カレーのルーやお肉などは購入しています。いただくものと購入するものと半々という感じなので、いかに安くあげるか試行錯誤中です。

●会場

かつてデイサービスを運営していたスペースで地域のたまり場「虹の家サロン」を週に1回開催しているので、その場所を子ども食堂にも利用しています。場所があるおかげで継続することができています。



●運営費

運営費のことはもちろんですが、子ども食堂という取組 みの啓発も兼ねてイオンの「幸せの黄色いレシート」* キャ ンペーンに参加。食堂に来ている子のお母さんから「レシー ト入れたよ!」と声をかけてもらうこともあります。

*レジ精算時に受け取った黄色いレシートを、地域のボランティア団体名が書かれたBOXへ投函すると、お買い上げ金額合計の1%がそれぞれの団体に還元されるシステムです。

開催日時 月1回第3土曜日

※詳しくはお問合せください。

場所 にじの家サロン (栗東市小平井3丁目1-27)

ごはん代 おとな 300円 こども 100円

しが健康医療生活協同組合 山崎 勇一さん

TEL 077-574-8522 MAIL siga-iseikyo@ninus.ocn.ne.jp

遊べる・学べる

淡海子ども食堂が

なりました!!

2017年8月現在

みなさんから送っていただいた「子ど も食堂 開催結果報告書」のコメントを ランダムにピックアップしました。

他の子ども食堂の様子を知っていただ ける場になれば、うれしいです!

人数も増えてそうめんパー <mark>ティー</mark>。ごま油に塩コショウ豆も <mark>やし韓</mark>国のリトッピングのおいし さにみんなびっくり。去年も一度 やったのを写真撮影していたお姉 ちゃん。一生懸命探してくれて、 みんなに見せてくれました。

●キッズカフェ・エンジェライト【大津市】

大人の参加がいつもより多かっ た。学校での懇談会の打合せで子 供をつれて来てくれました。大人 にもいい場になっているなと感じ、 うれしく思いました。ハヤシライ スは初めて食べた!おいしい!と おかわりする子たちが多くよくう れました。

●子ども食堂 あじと【東近江市】

お弁当箱につめて今回は子ども食 <mark>堂をし</mark>ました。調理の方も後しま <mark>つが早</mark>くでき、食べた後も<mark>スムー</mark> ズに終われたのが、とてもよかっ

ふたば・あすなる食堂【野洲市】

夏休み期間 1 回目のこども食堂 <mark>で、こ</mark>れまで以上に新しい方の来 所や問合せがあった。夏休み期間 は様々な『体験』を実施する予定。 今回実施したジャガイモ掘り体験 では、子供たちが農作物に触れら れる機会として楽しんでもらえた。

●にじの家サロンこども食堂&寺子屋【栗東市】

近所のパンやさんより焼き立て の食事用のパンを提供して頂ける <mark>ことに</mark>なりました。子供達もとて も喜んでいます。

●しらゆり子ども食堂【大津市】

比較的低学年が多く、親子で参 加された。初めてのうどん体験で もあり自分達の手で作り上げる事 の大切さを学んで頂きました。又、 美味のうどんに食べすぎる程にお かわりがあり驚いています。

●あやの(みんなの居場所)子ども食堂【甲賀市】

今まで自由あそびのコーナーに <mark>は折り</mark>紙を置いていました。カレ ンダーや包装紙などもたくさんい ただいているので、一緒に置いて ましたが、消費が多いのはやっぱ り折り紙。

そこで、折り紙の買い足しをや めて、カレンダーなどだけ置いて いたら、ちゃんと考えて出来るあ そびを展開していきます。こども はやっぱりあそびの天才と再確認 しました。

●八日市おかえり食堂【東近江市】

今回は夏休みということで宿題 をする かわりにボランティアさん に工作2つを教えていただきまし た。最初は遊びたそうにしていた 子も楽しく工作に取組んでいまし

●きのもと子ども食堂【長浜市】

お盆の最中だったため、参加者 <mark>が少な</mark>かったが、その分子どもた ちが作るのを見守る事が出来た。

食材(夏野菜、じゃが芋、果物 の缶づめ)の寄付を今回はたくさ んいただく事が出来、嬉しかった

●のぞみ子ども食堂【彦根市】

滋賀県の話やびわこの話、部活 の話をする。参加者がお互いに会 <mark>話だけ</mark>でなく「ありがとう」等言 い合える温かい雰囲気となった。

●eatalk【大津市】

子ども達も少しずつ成長してき た様で人の話を聞く時の態度など は以前に比べ良くなってきた。

今回初めてのイベント開催で あったが、思った以上に子ども達 の態度は良かった。お話して下さっ たボランティアさんに感謝の気持 ちでいっぱいです。

●田上っ子食堂【大津市】

「子ども食堂だより」は、子ども食堂を実際に運営しているみなさんに向けて、月1回の 発行をめざしています。ご意見・ご感想、掲載したい情報、他の子ども食堂への質問などが ありましたら、ぜひご連絡ください。

【発行・お問い合わせ】

滋賀の縁創造実践センター(滋賀県社会福祉協議会内)



〒525 - 0072

₩ 滋賀県草津市笠山 7 丁目 8 - 138

TEL 077-569-4650

FAX 077-567-5160

MAIL enishi@shigashakyo.jp

